

11月27日

パー ティー自衛 新手法模索するが見通せず

「〇一〇年政治資金収支報告書から、政治資金パーティーの収入の大額減など新型コロナウイルス禍が政治活動に影を落とした実態が浮かんだ。影響は長期化する可能性もあり、収入の多くをパーティーに依存してきた国会議員にとっては「死活問題」（自民党中央）だ。感染状況をじらみつつ、新たな活動手法を摸索するが、先行きは見通せない。

△八方ふさがり

「個人資金の持ち出しはもちろん、親族にまで頼つて金策に走り、しのいだ」。コロナでパーティー開催の自粛を余儀なくされた自民党の若手衆院議員は明かす。中堅議員の秘書も「議員に副業でもない限り、事務所の運営が立ちゆかなくななる」と感慮を隠さない。

与党と比べて財政基盤が弱いとされる野党は一層深刻だ。立憲民主党のある衆院議員は「パーティーの減少を献金で補おうとしたが、「コロナで収入が減ったから助けて」と断られた。八方ふさがりだった」と語

*政党本部分。百万の位を四捨五入。立民と国民は、いずれも2020年9月に設立された現在の党



コロナで業績が大幅に悪化した航空業界などは献金を減らした。一方で、自動車や機械、建設といった影響が比較的小さかつた業界は「会員みたいな位置付け」（同）として、例年の水準を維持した。

△有権者心理

ベトナムの議員秘書は「今年十月の衆院選前に、数百萬円かかるビラ配布が明かす。中堅議員の秘書も「議員に副業でもない限り、事務所の運営が立ちゆかなくななる」と感慮を隠さない。

「選挙戦は手薄にできず、苦労を取り崩して乗り切った」と打ち明けた。

政治団体の収入源は、国が支出する政党交付金その他、パーティーを負む事業収入と、企業・団体献金などがある。この「寄付」が大きな柱だ。た

△厳しい視線

明治大の井田正道教授（政治行動論）は「現状では代替手段はSNSくらいしか見当たらない」としながら「SNSに情報を集められたが、コロナが収束すればまた元に戻る」と言

い切る。

井田教授はSNSくらいしか見当たらない」としながら「SNSに情報を集められたが、コロナが収束すればまた元に戻る」と言